

報道関係者各位

2020年6月9日

## “アフターコロナ”に関する主婦の意識調査のお知らせ

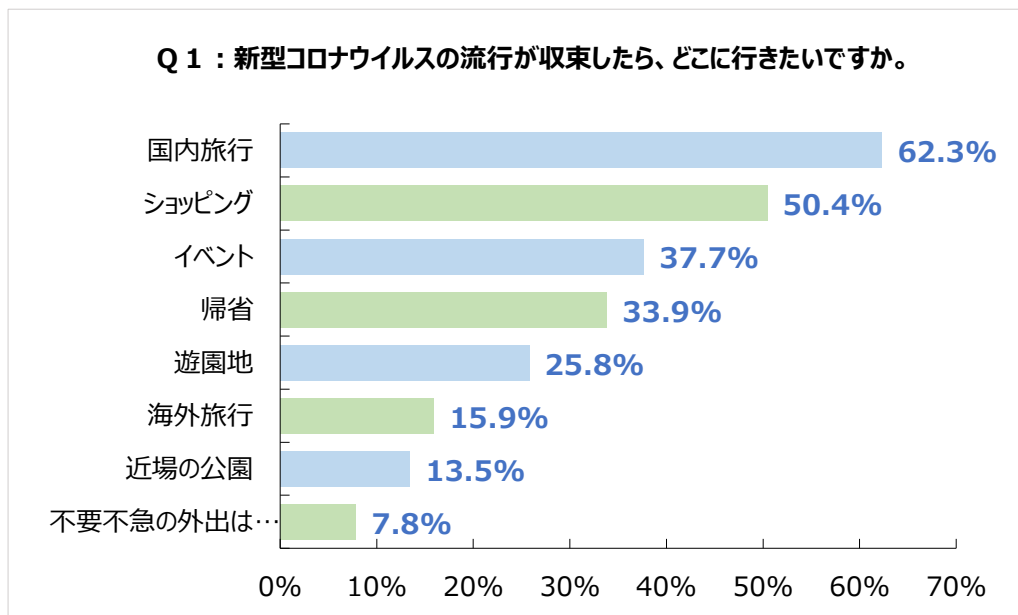
～ 特定給付金の使い道は「生活費」「貯蓄」など現実的な回答に ～

女性のキャリア支援で数多くの実績を有する株式会社キャリア・맘(東京都多摩市、代表取締役 堤香苗、以下、当社)は「主婦と消費行動研究所」にて新型コロナウイルス流行の影響に関する主婦の意識調査第2弾として、“アフターコロナ”に関する主婦の意識調査を実施しました。

### 【調査概要】

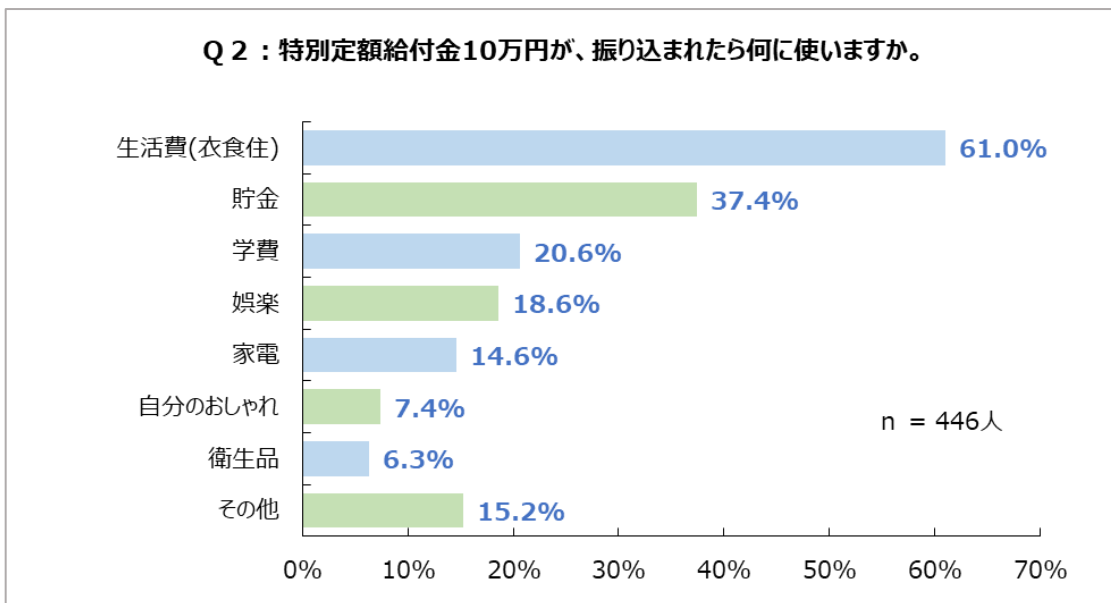
- ・調査方法:web アンケート方式
- ・調査対象:全国のキャリア・맘会員
- ・有効回答数:446名
- ・調査実施日:20代～50代の女性

### ■自粛疲れをリフレッシュ！収束したら行きたい所は『国内旅行』と『ショッピング』が上位に。



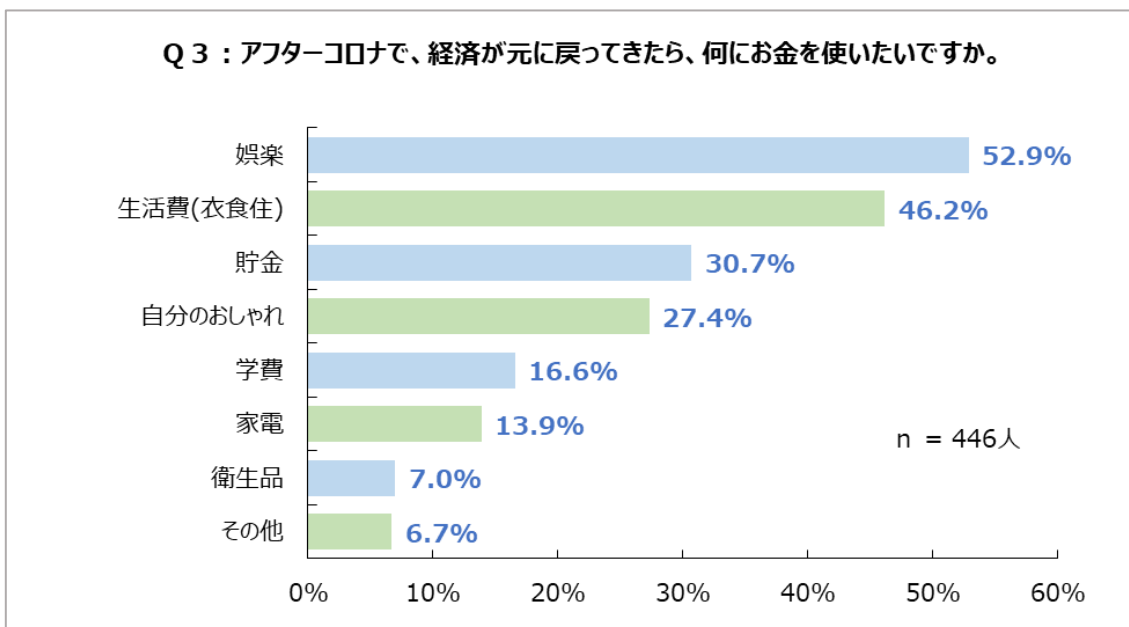
Q1「新型コロナウイルスの流行が収束したら、どこに行きたいですか。」との問いに対し、1位は『国内旅行』で62.3%を占めた。ステイホームが続いた後、非日常の観光や温泉、食事などで、疲れた心と身体を癒したいとの思いがみられた。不要不急の外出を控え、買い物も必要最低限の物を急いで買う日々が続いた中、2位に入ったのは『ショッピング』(50.4%)。新しい服やカバン、家の中を豊かにする家電製品やインテリア用品など、自由に買い物ができたら“こんなものを買いたい！”との思いが膨らんでいる様子が伺えた。その他、『帰省』(33.9%)も上位に。高齢の家族を案じ県境をまたいでの移動を自粛していたものの、やはり直接会い、故郷の空気を肌で感じたい人が多い。また、ライブやスポーツ観戦などの『イベント』(37.7%)、東京ディズニーリゾートやユニバーサル・スタジオ・ジャパンなどの『遊園地』(25.8%)と回答した人も多くそれぞれの楽しみを実現したいとの願いが感じられた。

■給付金の使い道は『生活費』が6割強。先行き不透明で4割弱は『貯金』に充てると回答。



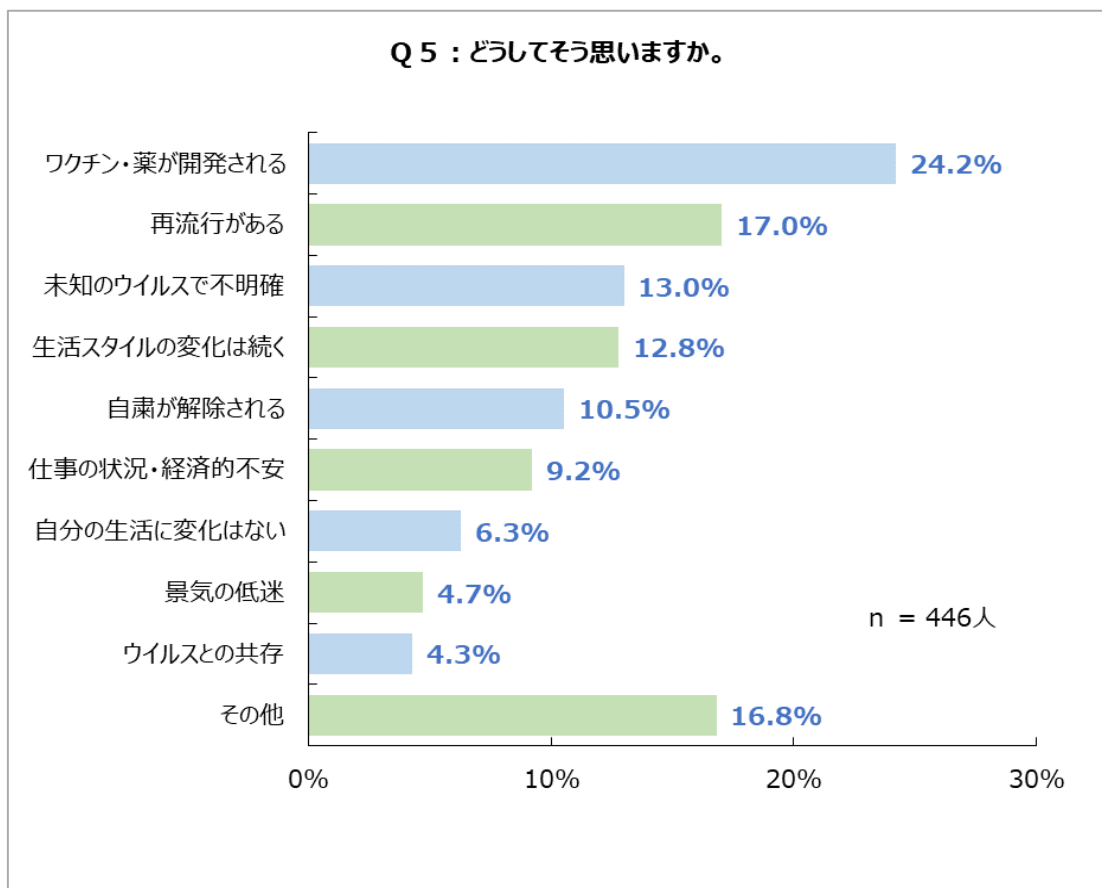
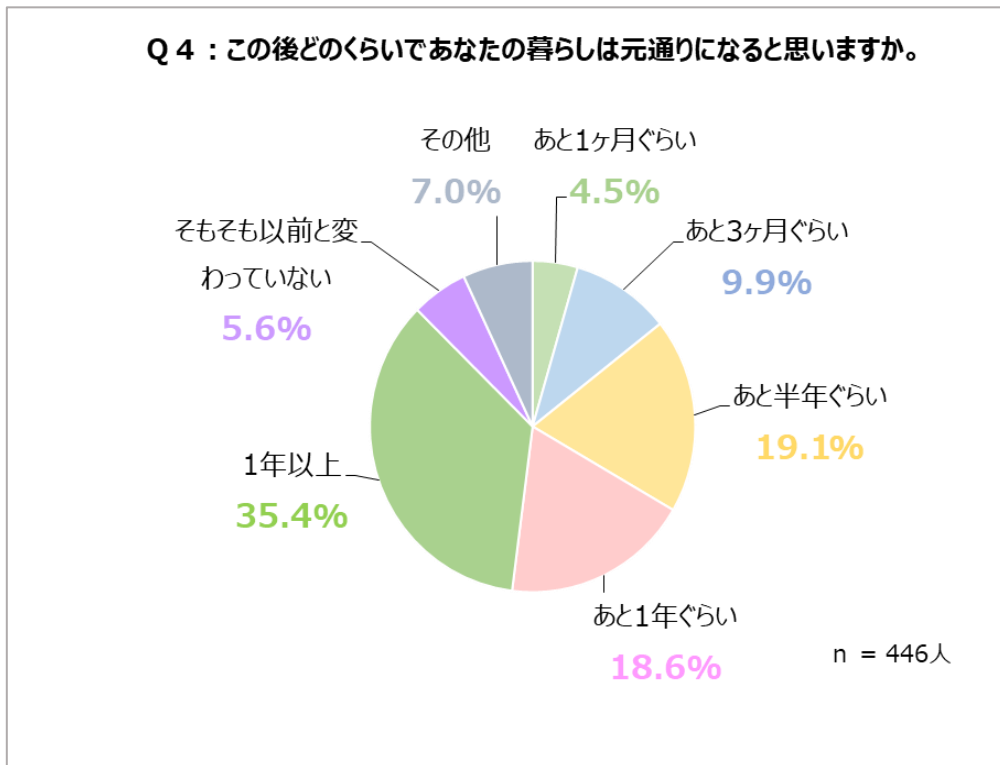
一律に支給される事が決まった“給付金”。Q2「特別定額給付金 10 万円が、振り込まれたら何に使いますか。」との質問に、61.0%もの人が『衣食住』と回答した。収入が減少している家庭も多く、日々の暮らしに必要なものに、まずはお金を回したいとの現実が見られた。続いて『貯金』(37.4%)が2位に。これまで切り崩してきた貯金の補填や、先が読めない経済への不安から貯めておきたいという心境の表れだろう。『学費』(20.6%)も上位に入り、削りたくても削れない費用について子育て世代の苦勞が伺える。一方、『娯楽』(18.6%)、『自分のおしゃれ』(7.4%)との意見も。長引くコロナ禍の中、ストレスを爆発させないためのプチブレイクも必要なのかもしれない。

■景気が回復したら『娯楽』にお金を使いたい！一方、『生活費』『貯金』との現実的意見も多数。



Q3では「経済が元に戻ってきたら、何にお金を使いたいですか。」と質問してみた。半数以上の方は『娯楽』(52.9%)と回答し、現在控えているイベントや会食、旅行など、“あれもしたい！これもしたい！”との思いが膨らんでいる様子が伺える。続いて多数を占めたのが『生活費』(46.2%)、『貯金』(30.7%)との結果に。経済が戻ってきたからといって“すぐにお金を使うのは心配”との意見は、既に生活費も切り詰めていたり、貯金を切り崩している切実な現状を表しているのかもしれない。

■過半数は”1年は元に戻らない”。キーワードは”ワクチン開発”。

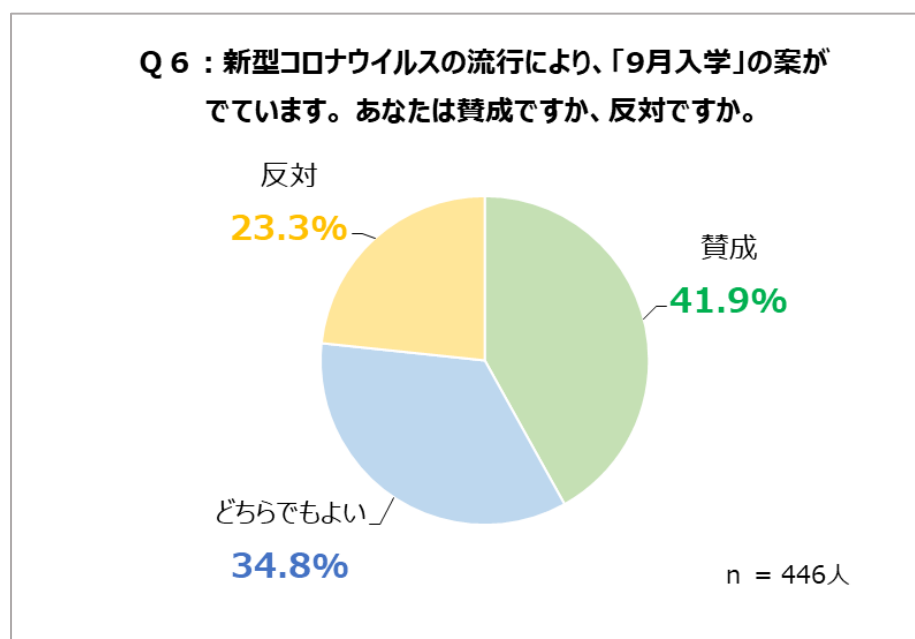


Q4「この後どのくらいであなたの暮らしは元通りになるとお考えですか。」では元通りになるまでの期間を、Q5ではフリーワードでその理由を聞いてみた。期間で最も多かったのが35.4%の『1年以上』で、『あと1年ぐらい』(18.6%)と合わせて、”1年は元に戻らない”と感じている人が過半数を占めた。その理由として1位だったのが『ワクチン・薬が開発される』(24.2%)。ワクチンの開発には時間がかかるとの報道から、それまでは安心して外出できないと

感じている人が多いようだ。また、第2波・第3波、冬の再燃が心配される『再流行がある』(17.0%)との心配も長期化を見込んでいる理由だろう。「新型コロナの危険性は、まだわかっていないところがあると思う」など、『未知のウイルスで不明確』(13.0%)な点も先行きが心配なところだ。

期間として『あと半年くらい』(19.1%)、『あと3か月くらい』(9.9%)と比較的短く考えている人は、『生活スタイルの変化は続く』(12.8%)、『自粛が解除される』(10.5%)が主にその理由のようだ。不要不急の外出を避ける、衛生面を徹底するなど、自粛中に身についた行動はコロナ対策として続け、それが慣れてくる頃と考えている様子が伺える。また、「こどもの学校が再開し、夫の在宅勤務が終了して通勤するようになれば、これまでの暮らしと変わらなくなるから」との意見のように、家族がステイホームとならないことでこれまでの日常生活に戻ると考えている人もいるようだ。

## ■”9月入学”は『賛成』が優勢なものの、『どちらでもよい』『反対』も拮抗。



にわかに高まってきた“9月入学”案。Q6では「あなたは賛成ですか、反対ですか。」との問いに対し、最も多い意見は『賛成』の41.9%となった。これまでも議論されてきたものの、なかなか実現できなかった”9月入学”について、この状況だからこそできるのではないかと考える人が多く見られた。対して『反対』も23.3%おり、現実的に難しいとの意見も多い。『どちらでもよい』との中立意見は34.8%で、子どもの年齢や有無など、様々な環境のママ会員の中では意見が分かれる結果となった。

## 【ご参考】

新型コロナウイルスに関する主婦の意識調査(2020年4月3日発表)

[https://corp.c-mam.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/2020/04/20200403\\_anq\\_corona.pdf](https://corp.c-mam.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/2020/04/20200403_anq_corona.pdf)

当社代表取締役・堤香苗が在宅ワークや新型コロナウイルスについてなど雑感を更新「ほんねの話」

<http://www.c-mam.co.jp/career/real-intention/>

主婦と消費行動研究所

<http://www.c-mam.co.jp/shufu-labo/>

●本プレスリリースに関するお問い合わせ先●

株式会社キャリア・ママ 広報室 [pr@c-mam.co.jp](mailto:pr@c-mam.co.jp)

〒206-0033 東京都多摩市落合 1-46-1 ココア多摩センター5階

TEL:042-389-0220 FAX:042-389-0230

在宅ワークに関するサイト <http://www.c-mam.co.jp/index.php>

株式会社キャリア・ママ コーポレートサイト <https://corp.c-mam.co.jp/>